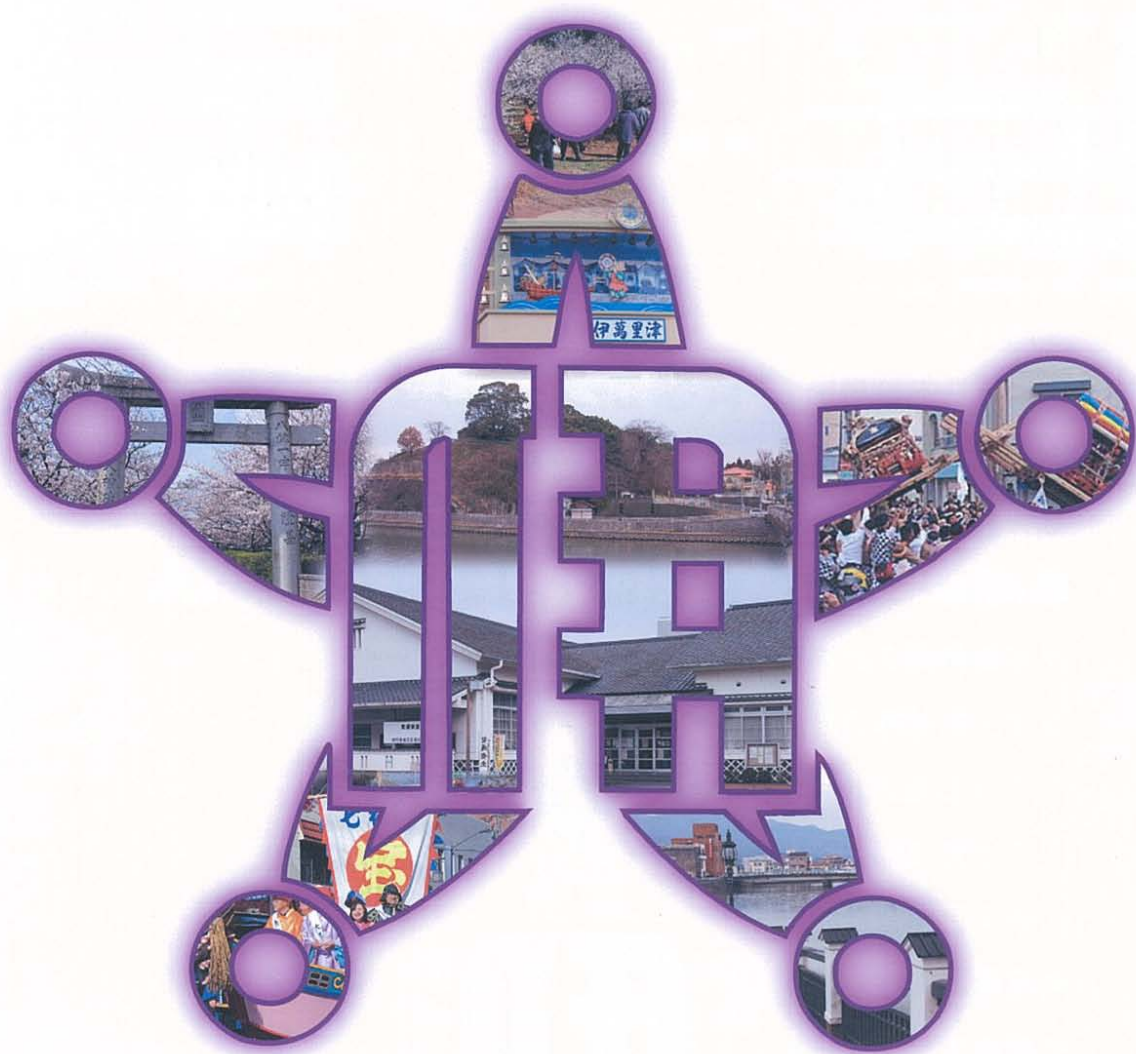


地域の元気推進事業

伊万里地区元気推進プラン



平成23年3月

伊万里地区まちづくり運営協議会

目 次

伊万里町民憲章	1
町の花、町の木、シンボルマーク	2
はじめに	3
1. 事業プラン策定にあたって	4
(1) 地域の元気推進事業について	4
(2) 伊万里地区元気推進プランとは	4
2. 現状と課題	5
(1) 地理的特性	5
(2) 歴史的特性	5
(3) 人口の推移	6
(4) 年齢構成	8
(5) アンケート結果	9
3. 伊万里地区の将来像	18
(1) 基本理念	18
(2) 基本計画	18
①地域振興部会計画書	19
②健康・福祉部会計画書	21
③安全安心部会計画書	22
④青少年育成部会計画書	24
⑤伝統文化部会計画書	25
4. 計画実現に向けて	26
(1) 各部会スケジュール	26
5. 資料	30
(1) 運営委員会名簿	30
(2) 伊万里地区まちづくり運営協議会組織図	31
(3) 伊万里地区まちづくり運営協議会規約	32
(4) プロジェクト委員名簿	35

伊万里町民憲章

わたしたちは、歴史と文化の薫る風光明媚な郷土を愛する伊万里町民です。このことに誇りをもって、心豊かな連帯感あふれる住みよい町づくりをめざし、その実現を願って、ここに町民憲章を制定します。

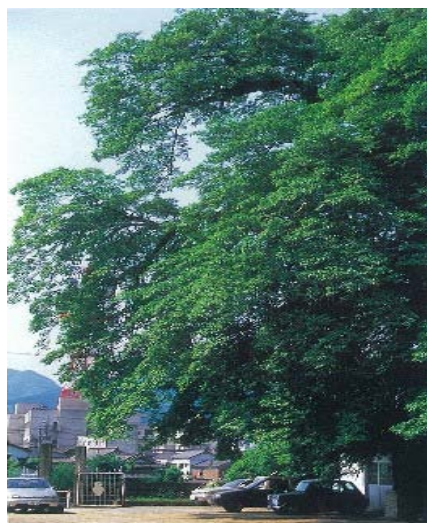
- 一、 伝統を重んじ、文化を育む町 いまり
- 一、 自然を愛し、環境を守る町 いまり
- 一、 人の和を大切にし、助け合う町 いまり



■ 町の花 (しだれ棕)



■ 町の木 (しだれ棕)



【選定理由】

伊万里保育園にあるしだれ棕は、伊万里町民にとって昔から親しみ深い伊万里町のシンボリック的存在です。

伊万里市の天然記念物に認定されていることもあり、しだれ棕の木と花を伊万里町の木と花に認定しました。

■ 伊万里町のシンボルマーク



棕の花を図案化

(図案考案者：野口 榮一先生)

※しだれ棕 (ムクノキ科)

伊万里町乙1-5 (上黒尾町)

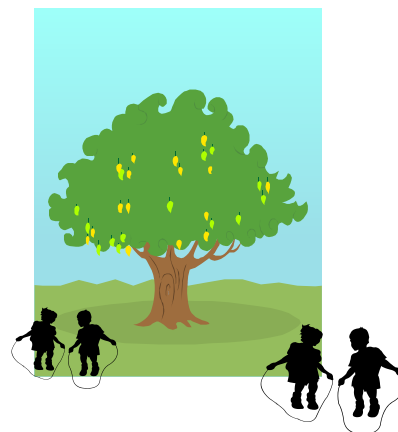
伊万里保育園の園庭西側に立つ。

推定樹齢 300年

樹高24m 幹回り4m 枝張り21.4m

伊万里市天然記念物 (昭和48年7月20日指定)

<さが名木100選にも選ばれています。>



はじめに

時代の趨勢により「国の地方分権政策」が見直しされ、地方から地域への「地域分権」が押し進められてきました。

これからは、地域全体の協力で「相互扶助」の精神を見直し、地域住民自らの自己決定、自己実現、自己責任を図り、私たちの力で、私たち自身が住み良い地域をめざしたまちづくりを推進していくこととなりました。

伊万里地区では平成22年4月、地域住民による自主的・自立的な地域づくりをめざす「地域の元気推進事業」に取り組むことが決定しました。

その後プロジェクトチームを発足させ準備をすすめてまいり、この度、「まちづくり運営協議会」の設立の運びとなりました。

計画の策定につきましては、運営委員会を設け、区長・各種団体の代表者・公募による顧問、また行政よりの支援職員者のアドバイスを受けながら、多くの方々の叡智をしばり作成いたしました。

関係者の皆様方には、大変ご苦勞をおかけいたしました。厚くお礼を申し上げます。

伊万里地区まちづくり運営協議会
会長 安並 勇

1. 事業プラン策定にあたって

(1) 地域の元気推進事業について

伊万里市では、平成19年度から「地域の元気推進事業」に取り組んでいます。この事業は、「地域のことは行政に頼らず、地域の人々で解決し、自分たちでまちを良くしていこう」とするものです。

そのためには、市民と行政が、それぞれの責任と信頼関係において、まちづくりを進めようとする「協働」の考え方のもと、行政のサポートを受けながら市民が主役のまちづくりを行うことが理想です。

伊万里地区も平成22年度から取組実施地区になり、本事業を進めることになりました。少子高齢化や高度情報化が進み、社会状況が激変する中、伊万里地区もいろいろな課題や問題を抱えています。

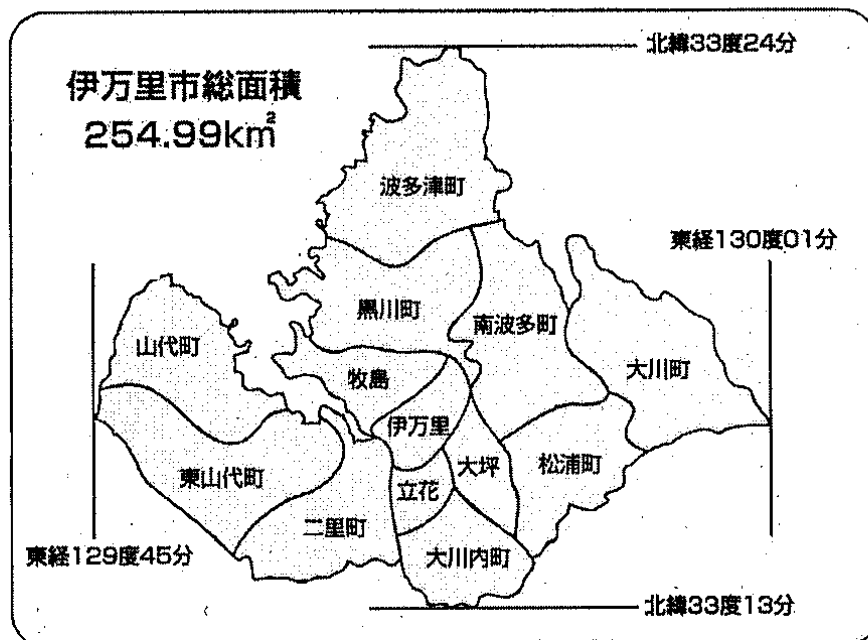
地域分権の流れの中、自分たちでできることは自分たちの手で解決していき、誰もが住みやすく、元気で安全な伊万里地区になればと願っています。

(2) 伊万里地区元気推進プランとは

まず、伊万里地区の現状や問題点等を把握するために全世帯にアンケートを配布しました。回収したアンケートの結果をもとに課題や問題点を取り上げ、どうすれば解決できるのか、どうすればよりよいまちになるのか、ということを経験者ごとに協議を重ね、「伊万里町民憲章」の実現を目標とした基本計画を策定しました。この計画書は、まちづくり計画の中で概ね最初の5年間の取組を記しています。

2. 現状と課題

(1) 地理的特性



伊万里地区は、伊万里市の中央に位置し、大坪地区、立花地区、二里町、牧島地区、黒川町、南波多町と隣接しています。北側の城古岳、東側の今岳、南側の腰岳からのびた丘陵部からなり、中央を、その昔「渭水」と呼ばれた伊万里川が東西に流れており、古くから地域の中心的機能を果たしてきました。

(2) 歴史的特性

1600年代半ばより、伊万里焼（古伊万里）の積出が始まると、中心部は急速に発展しました。1800年代初めには、「伊万里津は千軒在所」といわれるほど栄えていたようです。明治の初めの一時期は、城山公園の下にある円通寺に「伊万里県」の県庁が置かれたこともありました。その後、昭和の高度成長期を経て商店街の近代化もなされましたが、核家族化や少子高齢化など多様化していく社会の中で、中心部のドーナツ化現象や周辺部の新興住宅地化が進み、衰退が広がりました。現在も、地区内には商店街、ベッドタウン、農家等があり、伊万里市の縮図のような地区となっています。

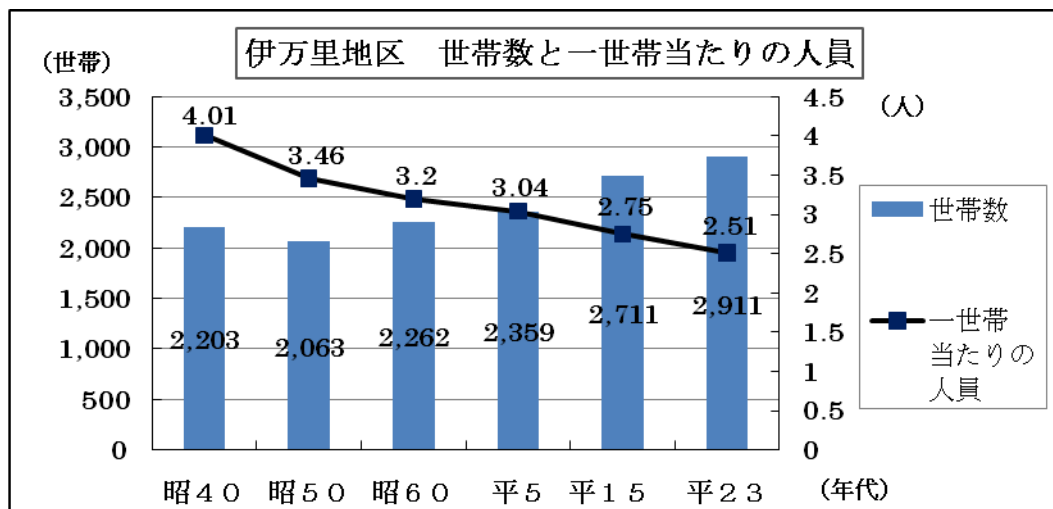
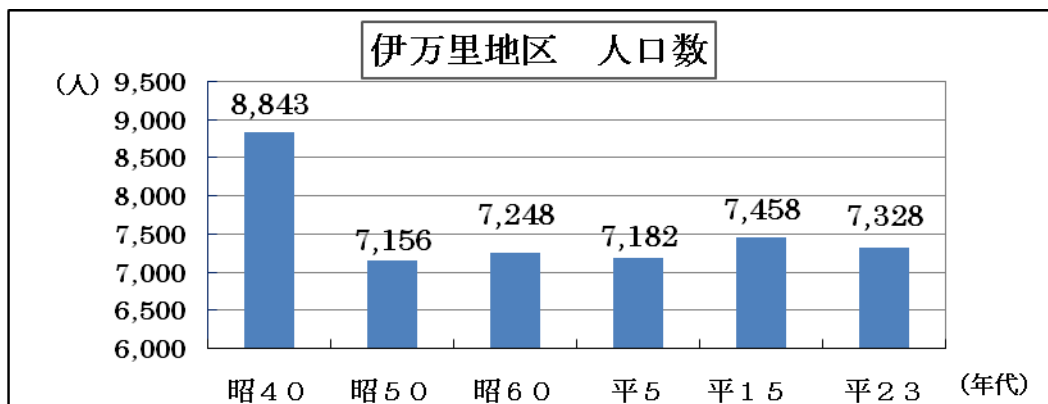
(3) 人口の推移

地区は現在28行政区から構成されています。

行政区には、少ないところで13世帯、多いところで約600世帯のところがあり、子どもが多い区もあれば高齢者が多い区もあって、世代格差が大きくなっています。市街地では古くから商売を生業とする住民が多く、学校卒業後の市外への就職などから、徐々に人口の減少が見られますが、周辺部においては個人住宅やマンション、アパートの建設が増え、人口増が見られるところもあります。

下記の2つのグラフを見ると、昭和50年頃からは人口数が横ばい状態なのに対して世帯数は増加しており、一世帯当たりの人数が少なくなっています。これも核家族や単身世帯の増加の表れといえるでしょう。

伊万里地区は、現在の28区になるまでに、昭和58年頃までは陣内区・松島区・下松島区・脇田区・平山区・岩立区・木須東区・弁天区が牧島地区に属し、平成4年頃までは蓮池町は大坪地区に属していましたが、下記の表・グラフは現在の28区の行政区で表しています。



昭和40年から平成23年までの伊万里地区の人口の推移（現伊万里地区の行政区で表示）

行政区		年代別 世帯・人口数					
		昭40	昭50	昭60	平5	平15	平23
東新町	世帯数	85	71	53	50	44	44
	人口数	358	241	180	147	112	97
上仲町	世帯数	45	35	22	17	17	17
	人口数	185	122	60	51	40	45
仲町	世帯数	30	22	27	22	18	20
	人口数	144	83	70	68	46	38
幸善町	世帯数	53	22	34	30	26	24
	人口数	229	99	108	76	59	54
本町一丁目	世帯数	25	21	14	15	15	13
	人口数	99	84	45	34	35	27
本町二丁目	世帯数	21	22	16	15	16	14
	人口数	101	112	63	52	47	41
本町三・四丁目	世帯数	70	45	42	28	25	27
	人口数	297	137	112	75	52	51
搦町	世帯数	51	34	29	29	31	30
	人口数	212	121	104	84	78	66
上土井町	世帯数	95	74	72	59	53	50
	人口数	329	240	210	171	132	89
下土井町	世帯数	75	61	66	54	39	39
	人口数	298	195	186	144	99	89
浜町	世帯数	111	99	83	85	65	67
	人口数	445	341	270	221	137	126
今町	世帯数	78	71	54	49	39	42
	人口数	274	230	164	122	92	87
元町	世帯数	93	78	65	46	48	49
	人口数	354	259	190	133	127	120
立町	世帯数	64	49	40	42	36	33
	人口数	266	178	130	116	80	76
朝日町	世帯数	31	24	23	26	23	18
	人口数	120	72	72	79	64	41
上黒尾町	世帯数	62	37	25	28	29	29
	人口数	222	116	86	88	77	66
相生町	世帯数	82	49	41	37	31	28
	人口数	332	163	126	91	64	48
船屋町	世帯数	127	74	59	43	70	73
	人口数	433	195	148	106	165	167
陣内	世帯数	115	120	123	95	91	89
	人口数	392	391	336	214	208	204
松島	世帯数	230	259	239	228	361	368
	人口数	818	811	656	610	855	826
下松島	世帯数	195	178	158	129	109	117
	人口数	720	560	458	337	255	270
脇田	世帯数	110	227	386	578	558	649
	人口数	524	866	1,316	1,922	1,594	1,676
上ノ山	世帯数					270	317
	人口数					932	1,002
平山	世帯数	55	53	62	67	74	78
	人口数	278	236	237	255	233	221
岩立	世帯数	33	35	42	46	40	46
	人口数	181	172	185	154	120	119
木須東	世帯数	175	217	213	205	204	246
	人口数	817	838	841	774	673	671
弁天町	世帯数			204	275	325	326
	人口数			694	901	952	868
蓮池町	世帯数	92	86	70	61	54	58
	人口数	415	294	201	157	130	143
計	世帯数	2,203	2,063	2,262	2,359	2,711	2,911
	人口数	8,843	7,156	7,248	7,182	7,458	7,328

(4) 年齢構成

市街地では高齢化が進み、子どものいない区もみられるようになり、昼間は限界集落化している状態です。一方、団地や住宅地では核家族世帯が多く、若い世代の親子が多く見られます。

また、15歳未満の人口は1,199人で全体の16.4%、15歳以上65歳未満は4,602人で62.8%、65歳以上は1,527人で20.8%となっており、それぞれ、伊万里市全体の比率と比べると、15歳未満と、15歳以上65歳未満は、伊万里地区の方が2%高く、65歳以上は伊万里地区の方が4%低い結果となっています。

行政区名	東新町	上仲町	仲町	幸善町	本町1	本町2	本町3・4
少子化率	7.00	17.39	7.50	2.00	3.70	11.90	0.00
高齢化率	32.00	19.57	25.00	50.00	37.04	47.62	55.32

行政区名	搦町	上土井町	下土井町	浜町	今町	元町	立町
少子化率	10.45	2.22	11.70	2.36	6.82	11.86	16.46
高齢化率	31.34	32.22	29.79	45.67	45.45	23.73	31.65

行政区名	朝日町	上黒尾町	相生町	船屋町	陣内	松島	下松島
少子化率	5.00	10.29	0.00	18.93	22.06	18.78	12.77
高齢化率	37.50	41.18	45.83	23.67	28.92	19.38	29.93

行政区名	脇田	上ノ山	平山	岩立	木須東	弁天町	蓮池町
少子化率	17.40	18.81	12.05	16.39	10.61	26.63	11.11
高齢化率	19.02	6.87	27.23	28.69	24.66	7.91	30.37

■少子化率：15歳未満人口が総人口に占める割合

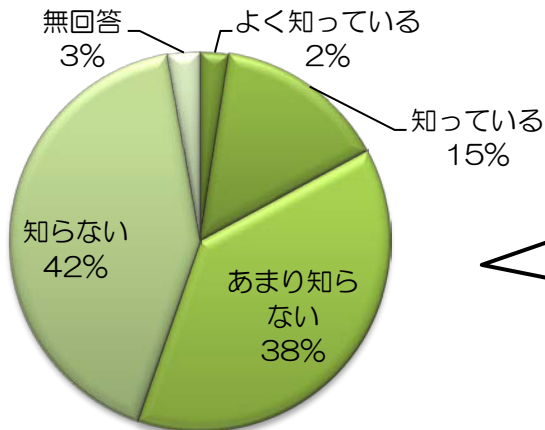
■高齢化率：65歳以上人口が総人口に占める割合

(5) アンケート結果

伊万里地区の現状と課題を把握するために、平成22年9月に、伊万里地区全世帯を対象にアンケート調査を実施しました。その結果についてお知らせします。

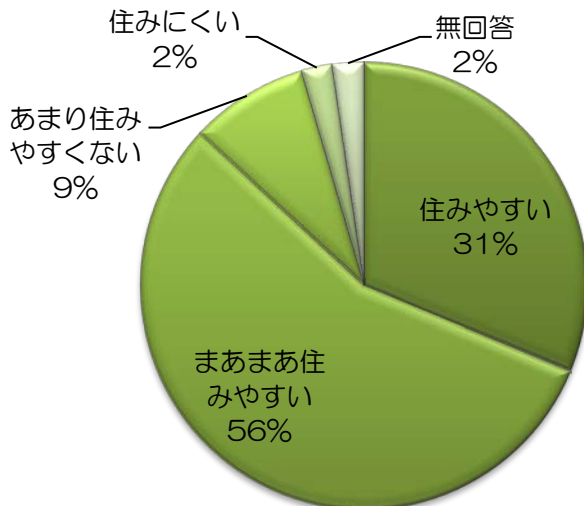
(それぞれの質問のその他の意見や、問9のコメントは、抜粋して載せています。)

1.伊万里地区が「地域の元気推進事業」に取り組むことをご存じですか？



あまり知らない人、全く知らない人を合わせると80%になり、この事業に対する認知度が低いことがわかります。

2.伊万里地区は住みやすいまちですか？



8割強の人が伊万里地区は住みやすいと感じています。ただ、コメントからは、住みやすいが〇〇が困る、いやだ、という意見も多くありました。

それぞれの理由の1位は・・・

- ・住みやすい → 近くにスーパーや学校等揃っていて生活するのに便利 (39人)
- ・まあまあ住みやすい → 近くにスーパーや学校等揃っていて生活するのに便利 (55人)
- ・あまり住みやすい → 交通の便が悪い (22人)
- ・住みにくい → 近所付き合い・閉鎖的 (8人)

3. 伊万里地区の良いところ、良くないところがあればお書きください。

(良いところ)

第1位	: 自然が多い・自然環境が良い	(143人)
第2位	: 人情がある・近所付き合いがある	(59人)
第3位	: 買物が便利・公共施設や駅、学校などに近くて便利	(47人)
第4位	: 食べ物が美味しい	(44人)
第5位	: 静か・のんびりしている	(43人)
第6位	: 犯罪・災害が少ない	(20人)
第7位	: 歴史・焼き物	(17人)
第8位	: 行事が多い・地区の取り組みが活発	(14人)
第8位	: 住みやすい	(14人)
第10位	: まちがきれい・ゴミがない	(13人)
第11位	: 交通の便が良い	(11人)
第12位	: 道路が広い、整備されている	(9人)
第13位	: よく挨拶をするところ	(5人)
第13位	: 街並みがきれい	(5人)
第15位	: 物価が安い	(4人)
第16位	: 生まれ育ったところだから	(3人)
第16位	: 公共施設について	(3人)
第16位	: 子ども達が多いなど	(3人)
第19位	: 気兼ねなく暮らせる	(2人)

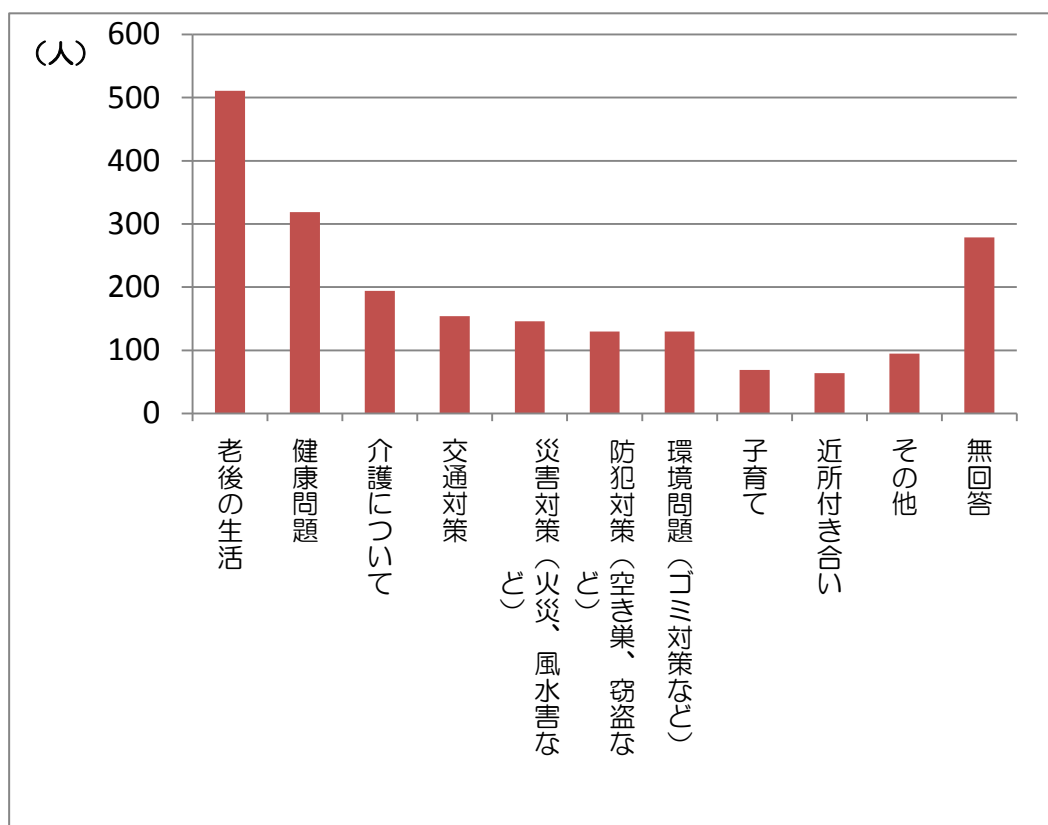
(良くないところ)

第1位	: 交通の便が悪い	(85人)
第2位	: 活気がない	(43人)
第3位	: 大型店が少ない・大型店が欲しい	(40人)
第4位	: 商店街の活気がない	(34人)
第5位	: 買物が不便	(25人)
第6位	: 歩道の段差・道路等の整備等	(24人)
第6位	: 環境問題(川が汚ない・動物のフンが多いなど)	(24人)
第8位	: 市外、県外に行くときに交通が不便	(23人)
第8位	: 子どもが遊ぶ場所(公園など)がない	(23人)
第8位	: トンテントンがなくなったこと	(23人)
第11位	: 近所付き合いが希薄・新参者を受け入れない	(22人)
第12位	: 雇用問題(仕事がない・賃金が安いなど)	(20人)
第13位	: いい病院がない・夜まで診てくれる小児科がない	(16人)
第14位	: マナーが悪い(特に交通マナー)	(13人)
第15位	: 保守的・伊万里の宣伝が出来ていない	(12人)
第16位	: 街灯が少ない	(11人)
第16位	: 行事が多い・地域の考え方が古く閉鎖的など	(11人)
第16位	: 税金・水道代等が高い	(11人)
第19位	: レジャー施設等がない	(10人)
第20位	: 学校等施設がない	(9人)
第20位	: 行政に対しての不満	(9人)
第20位	: 挨拶をしない・近所付き合い	(9人)

「良いところ」「良くないところ」に関する回答の上位には、いずれも地方(田舎)の特徴や特質を違った視点から表現したものであり、いわば「表裏一体」の内容となっています。



4. 現在困っていること、心配なことがありますか？（複数回答可）



（その他の意見）

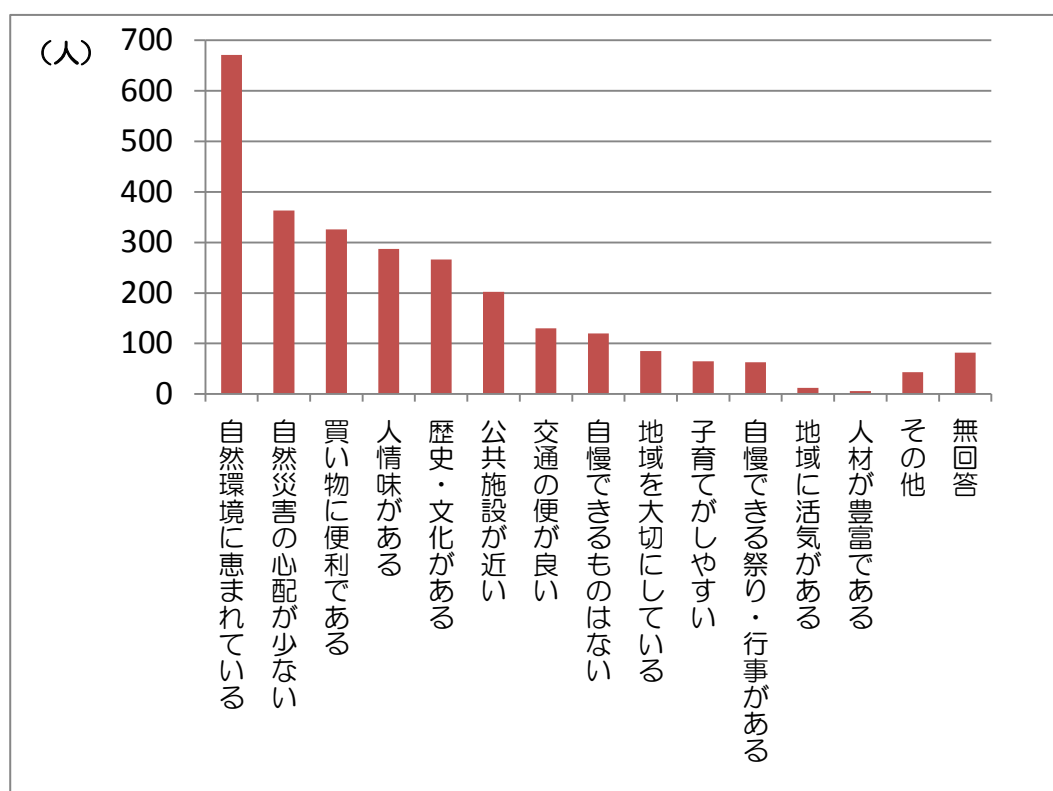
- 老後だけではなく、今現在の生活が心配。
- 物価が高い。（食料品等）
- 日本の経済。景気は良くなるのか・・・。
- 仕事場が少ない。
- 小学生のマナーの悪さにとても困っています。
- 買物。スーパーまで遠い。
- 大型店舗がない。
- 中心部の過疎化。
- 大学・短大など専門教育の学校がない。優秀な人材を他の地区へ奪われている。
- 伊万里の文化、歴史の消失。
- 家庭内のこと。

回答された方の7割が50歳以上であることもあり、一番多かった心配事が「老後の生活」でした。次いで「健康問題」、「介護について」と続き、高齢化社会の問題が表れています。



5. 伊万里地区で自慢できるものは何ですか？

(複数回答可)



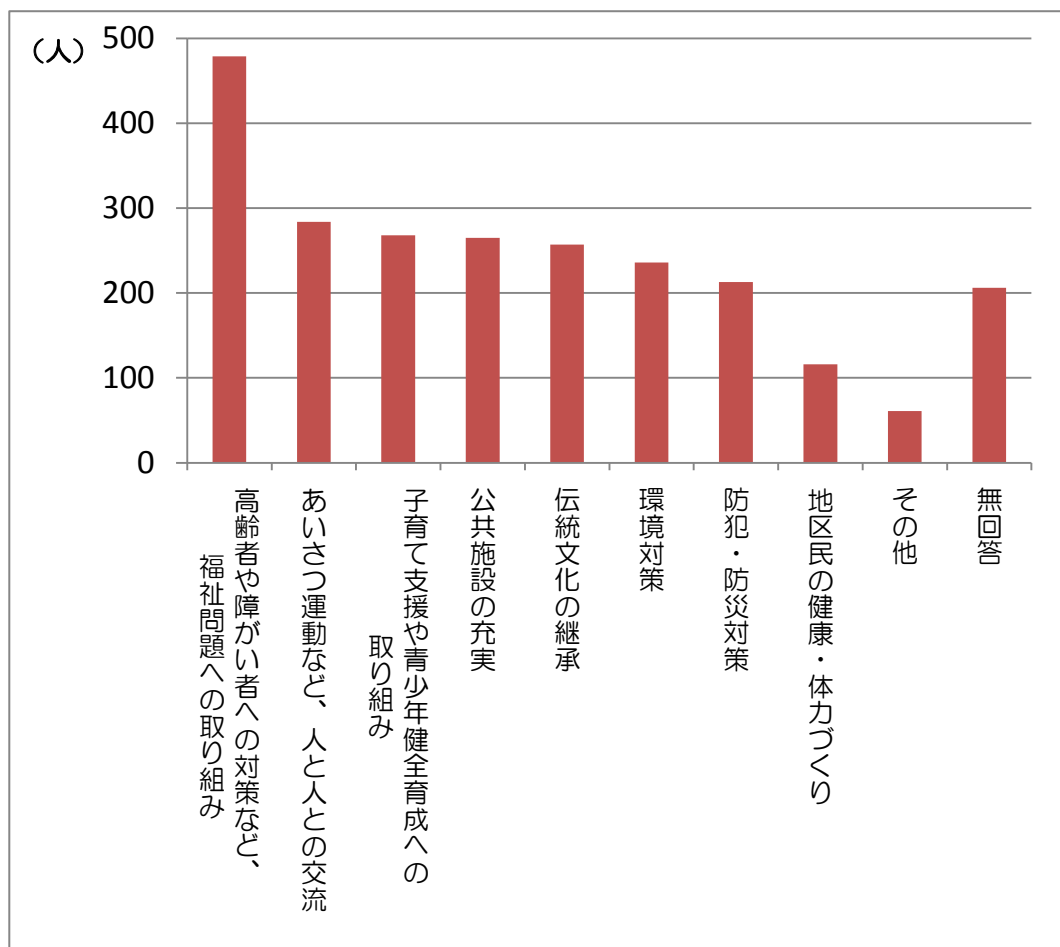
(その他の意見)

- 食材が新鮮で安くて豊富に購入できる。肉、野菜、魚、果物なんでも揃う。
- 特産がある。
- 空気がよく、自然がまだまだ残っている。
- 図書館は自慢できる。
- 子ども達の挨拶、特に男子高校生のほとんどが挨拶してくれる。驚きです。
- 万里音（まりおん）。（伊万里からくり時計）
- 名前が良い。
- 小・中・高校生が部活を頑張ってよい成績を収めている。
（伊小のコーラス部、バレー部他）
- 伊万里に来てから30年近くなるけど断水したことがないこと。
- 以前は自慢できる祭りがあった。トンテントンをまた復活すれば活気が出るのでは…。

自然が豊富だけあり、1位は「自然環境に恵まれている」でした。また、「地域に活気がある」に回答した人はあまりなく、商店街の衰退など、まちに活気がないと淋しく思われている人が多かったです。



6. 伊万里地区がもっと住みやすくなるためには何が必要だと思いますか？
(複数回答可)



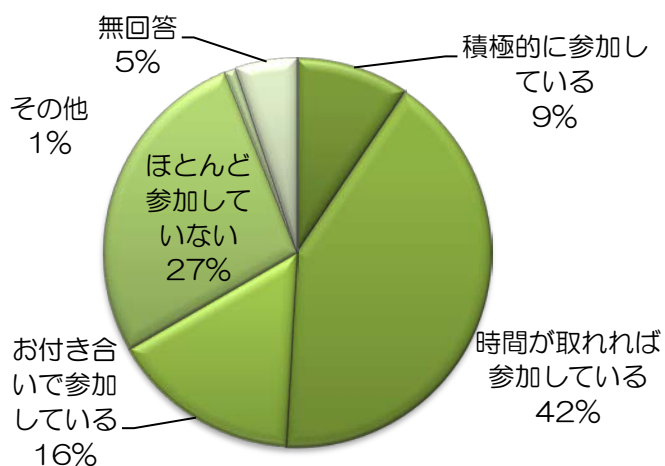
(その他の意見)

- 外部からの集客のための物産館など、南波多の道の駅のような施設が伊万里の中心街が近くに必要では。
- 交通機関を充実させて、人や物の流入を図る。
- 100円バスの回数をもっと増やしてもらいたい。
- 買物ができる店がないに等しい。(スーパーはあるが)以前あったダイエーくらいの規模(品質を含めて)の店がほしい。若い人たちは遠くへ出掛けることもできるが…。
- 雇用対策。
- 一人一人が住みやすくなる意識をもつこと。その教育推進。

2位から7位まではあまり差がなく、福祉問題がダントツの1位でした。福祉問題での意見で一番多かったのが、「高齢者のふれあいの場や、運動ができる施設」「老人ホームや、低年金でも入れる施設」がほしい、でした。次いで、「いまりんバスなどの福祉バスをもっと充実させてほしい」が2番目に多かった意見です。



7. 地域の行事・祭りについてお尋ねします。

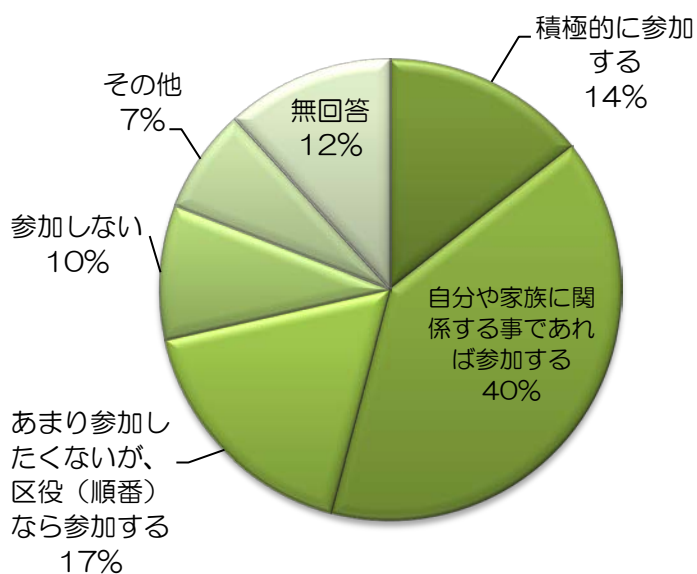


参加されない理由

- 1位：仕事で時間が取れない
- 2位：興味がない・魅力がない
- 3位：時間がない
- 4位：高齢のため
- 5位：病気のため・体力がない

付き合いで参加している人も合わせると、7割弱の人が地域の行事や祭りに参加されているようです。参加しない理由として一番多かったのが、「仕事で時間が取れない」という回答であり、そのほか、「高齢や病気のため」などの回答も多く、参加したいけど出来ないという人も多いです。また、トントンを復活してほしいという意見がとても多く、そのような考えから現状の祭りに対して魅力を感じないという人や、その他の行事に対して興味がないという人の意見もあり、参加されない理由の2位に入っています。

8. 地域の元気づくりのためにできること（活動）があれば参加しますか？



積極的に参加するという人は2割に満たず、全体の半数の人は「自分や家族に関係があれば」、「区役なら」、参加するという結果でした。まだアンケートの時点ではこの事業自体の認知度が低く、どんな内容かも分からないのに参加しようがない、といった意見もいくつかありました。

その他の意見では、「時間が取れば」、「仕事に支障がなければ」参加するという意見が多く、参加する意思はある人が多かったです。

9. 伊万里地区について感じていることがあればお書きください。

第1位：まちに活気がない (27人)

- 街の中心がさびれている。ドーナツ化現象をどうするのか？市場や街並みの美化など、他の地区をもっと参考にすれば。(京都のにしき通り、福岡の西新など)
- 今の伊万里は、何にしても活気がありません。祭り、行事、地域参加を盛り上げるものはありません。伊万里の10年後20年後を考えて、都市計画、街並みの整備をしてください。以前、30年前、40年前に昔からあった土蔵を崩さずもっと保存することも考えてよかったですのでは？

第2位：行政に対して (21人)

- 市内あちこちに焼き物が設置されているが、伊万里市の財源が赤字なのに必要ないのでは？そういうお金があるなら市民の健康に対する面にあててほしい。
- 休眠状態打破を。行政のメンバーが的中意見なし。音頭をとる人材を発掘しないと、もっとジリ貧に。

第3位：商店街の活性化 (20人)

- 商店街はきれいになりましたが、人通りが昼間でも全然なく淋しい限りです。店も閉まっているのが多いのはわかりますが、楽しくなるような元気になるようなイベントをして欲しいのですが……。ウォーキングイベント、鍋祭り、とか……？
- 商店街がさびれているため買い物の楽しみがない。高齢者には食料品のスーパーが遠く買物難民、せめて玉屋が充実していたらと思う。

第4位：環境問題 (18人)

- 伊万里町中央にある伊万里川をもっときれいにし、その川を利用する。季節々で、そのためには川をもっときれいにしたらと思います。
- 公共施設の清掃、活用(公園)についてその地区で当番制にして、子供たちも一緒に活動する。

第4位：トンテントンがなくなって淋しい (18人)

- 日本三大けんか祭りと言われていた伊万里トンテントンけんか祭りがなくなったのは残念です。地域全体でとても盛り上がり、都会に出ていた若者たちも伊帰しようという気持ちになっていたと思いますけど！観光の目玉になっていたのに。
- 中止中の処、トンテントンについて、事故がないためにも練習が必要と思う。

第6位：アンケートに対して/まちづくりの提案、意見など (16人)

- 新しく活動の場をつくっての前に、現在まで細々と続けられてきた活動を支援する、とか、活動の場を与えて活動しやすくする等から始めないと地域は元気にならない。「どう支援」して育てていくかだと思えます。

第7位：大型ショッピングモール等を作ってほしい（14人）

- ジャスコやゆめタウンを作ってほしい。
- デパートや百貨店等、品物が豊富な場所が少なすぎる。

第8位：福祉問題（11人）

- 「いまりんバス」は「福祉バス」なので、上ノ山や、弁天団地などまで運行して、高齢者（車が運転できなくなった人）の自立を支援するべき。今のAコースBコースが同じ所を反対から回るだけなのは納得出来ない。ほんの一部の地区のみ手厚くケアしてる。
- 商店。障害者用駐車場を良くしてもらいたい。いつ行っても停められない。

第9位：子どもが遊ぶ場所（公園・プール・グラウンド等）や憩いの広場がほしい（9人）

- 若い世代の家族で、低料金で遊ぶ場所がない。（夢みさき公園は遊具がなくただ広いだけ。）子どもたちが歩いていけるような、小学生たちが町内で遊ぶ広いグラウンドがない。（サッカー、ソフトとかコミュニケーションをとる所がほしい。）
- 市民プールは必要だと思う！！市外に行き、税金はよそでおとす原因。年会費ではなく、1回200～300円の運動の場がほしい。子どもを雨でも遊ばせる場所がない。

第9位：道路・交通の問題（9人）

- 旧市街地の道路は狭隘でゴチャゴチャしている。区画整理が必要ではないか。
- 大坪一木須線開通後の松島地区の交通混雑。

第10位：雇用問題（8人）

- 歴史、食、人情の面で優れていると思うが、経済的に厳しい側面があるので、まちづくりを考える中で雇用が創出されるような施策を望みます。（伊万里の特長を十分にまちづくりに活かしてほしい。）
- 最低賃金が低すぎる。プラス、雇用状況が悪い。

第10位：伊万里はいいところ（8人）

- よそに行って、久しぶりで帰った時のまちののどかな雰囲気は得も言えぬ温かさを感じます。伊万里町は良いところです。
- 中心部よりも郊外の方が活気があるようです。でも私は中心部の静かな佇まいを気に入ってます。

回答データ

【 回答率 】

45% (1325/2918世帯)

【 性別 】

男性：439人(33%) 女性：761人(57%)
不明：129人(10%)

【 年齢 】

30歳未満：27人(2%) 30代：108人(8%)
40代：186人(14%) 50代：308人(23%)
60代：291人(22%) 70歳以上：312人(24%)
不明：96人(7%)

【 行政区 】

東新町：23/45世帯(51%)	朝日町：19/19世帯(100%)
上仲町：6/17世帯(35%)	上黒尾町：18/29世帯(62%)
仲町：12/20世帯(60%)	相生町：18/29世帯(62%)
幸善町：10/23世帯(43%)	船屋町：39/75世帯(52%)
本町1丁目：11/13世帯(85%)	陣内：44/89世帯(49%)
本町2丁目：11/14世帯(79%)	松島町：134/368世帯(36%)
本町3・4丁目：0/26世帯(0%)	下松島町：35/116世帯(30%)
搦町：23/31世帯(74%)	脇田町：300/648世帯(46%)
上土井町：23/50世帯(46%)	上ノ山：154/321世帯(48%)
下土井町：16/39世帯(41%)	平山：51/78世帯(65%)
浜町：40/67世帯(60%)	岩立：31/46世帯(67%)
今町：23/42世帯(55%)	木須東：126/247世帯(51%)
元町：4/48世帯(8%)	弁天町：132/327世帯(40%)
立町：15/35世帯(43%)	蓮池町：7/56世帯(13%)

3. 伊万里地区の将来像

(1) 基本理念

平成19年2月に制定された「伊万里町民憲章」をもとに、地区の将来像を描いています。それは以下になります。

「わたしたちは、歴史と文化の薫る風光明媚な郷土を愛する伊万里町民です。このことに誇りをもって、心豊かな連帯感あふれる住みよい町づくりをめざします」

- ・ 伝統を重んじ、文化を育む町 いまり
- ・ 自然を愛し、環境を守る町 いまり
- ・ 人の和を大切にし、助け合う町 いまり

(2) 基本計画

伊万里地区まちづくり基本計画は、

- | | |
|---------|---------------------------|
| 地域振興部会 | (地域を盛り上げてまちを元気にしていく) |
| 健康・福祉部会 | (すべての人たちが健康に楽しく過ごせるようにする) |
| 安全安心部会 | (地域の安全を守り、防犯・防災に努める) |
| 青少年育成部会 | (子どもたちを健全に育む) |
| 伝統文化部会 | (地域の伝統や文化を守り、後世に継承していく) |

の5つの事業部会で、それぞれ解決したい伊万里地区の課題等について協議し、決定された、具体的行動計画をまとめたものです。

①事業部会【地域振興部会】

現状と課題
《現状》 <ul style="list-style-type: none">・全体的に活気がない。身近な所で武雄のような取り組みがあまり目立たない。・まちが淋しい。市外の人から「商店街はどこですか？」と聞かれて返事に詰まった。・町の中心地に、買い物出来る所がない。・ご近所さんとの交流がない。・有料駐車場を利用した商店街の利用は不便である。・山・川・海が近くにあってよい！（でも活かされていない。） 《課題》 <ul style="list-style-type: none">・街の中心部（商店街）に活気がない。観光客が来ても見るところがない。・伊万里の観光案内板が目立つところがない。・身近な所で武雄のようなどころと比較して、取り組みがあまり目立たない。（PRが下手）・伊万里の観光をする際、中心部の駐車場がわかりづらい。 ◎街の中心部（商店街）に活気がなく、伊万里は観光スポットとしての知名度や観光資源はたくさんあるのに、活かせていない。
事業の目的
<ul style="list-style-type: none">・まちの活性化につながる取り組みの実施が必要であり、伊万里中心部の疲弊や閉塞感を打破し、生き活きとしたまちづくりのきっかけとなるべきイベントの実施をする。・目的の明確化 〔内向き〕伊万里公民館祭りなど→目的：地域コミュニティの強化 〔外向き〕交流人口増加イベントなど→目的：市外より観光客などを誘引し、外貨の獲得に繋げ、地域経済の活性化を図り、豊かな地域を目指す。
具体的な取組
《すぐに取り組むべき事業》 ①既存イベントの実施内容（PR方法も含み）見直しによる活性化 <ul style="list-style-type: none">・公民館夏祭りを原点に立ち返り、中心部（たとえば、佐賀銀行の駐車場）での開催見直し。・商店街が賑わうというのではなく、地域みんなが賑わう街をつくれれば、自然と商店街も賑やかになるのではないかと？・黒澤明記念館サテライトスタジオ（3月に閉館）を利用してイベントの実施検討。また運営に際しては、民間株式発行の検討。・協議実施の橋巡りイベント（8/4）が知られていない。 →イベントを広く町中の人たちにPRすべき。（課題の中のPR下手）・脇田地区など、ホテルの里など銘打ったイベントの実施検討。・平山地区の梅林での梅祭りの知名度をあげ、すこし大きなイベントにしてはどうか？

②伊万里の観光マップと案内板作成

- ・伊万里の観光案内板が目立つところがないので、わかりやすい場所に作成が必要。
- ・白壁のある古い町並みや、商店街を観光ガイドのコースとして紹介の検討。
- ・伊万里の持つ観光資源を十分に活かせてない。
→掘り起こしによる再構築が必要。(例えば、徐福さんと伊万里の関連等)
- ・賑わいが必要であるが？
→イベントとかショップ？商店街の意見を伺い、古い伊万里の歴史を取り入れた形での見直し。
- ・伊万里の観光をする際、中心部の駐車場がわかりづらいのではないかな？
- ・中高校生(例えば、美術部など)に、手作り観光マップや観光案内板の作成協力を検討。

③伊万里の観光PRに関する積極的な取り組み(仕掛け作り)の実施

- ・インターネットの普及により、費用を掛けずに観光客を呼び込む手段が有るはず。

<実施案>

☆中心市街地の特長ある名称(例・相生橋, 延命橋, 幸橋など)を使ったストーリーを考えてWeb上で公開の検討、呼び水となってブームをしかけられないか。

(例・縁結びの橋(3つの橋を渡って、伊万里神社で縁結びの楠に願い事をするとう結ばれるとか)

<実施例>

☆長崎では、眼鏡橋近くの石垣やグラバー園のオランダ坂の一部の石をハート型に加工して、スポットとしてブームを演出している例がある。

《充実・発展させる事業》

①伊万里の歴史の掘り起こし

- ・伊万里に住んでいる人でも、伊万里の歴史や歴史的なポイントが十分にわかっていない。
- ・伊万里に住んでいる人が、伊万里の歴史的な魅力を発掘し、観光客や外部の人に伝えられるように勉強し、観光PRの方法を工夫する。

②まち全体の活気づくり

- ・伊万里川沿いの賑わい！(駅通り～本町通りも含む)
- ・アンティーク(骨董)市などを調査研究し、賑やかな中心部を創造する。
- ・人と人の交流(高齢者と子どもたちとのイベント)
- ・観光どころの創設(湯布院のような街作りのしかけをしてはどうか？非日常を求める観光客層にミートしている)

《じっくり検討して取り組むべき事業》

①伊万里市と一体となって、伊万里の今後のビジョンを考え、伊万里の将来の青写真(ロードマップ)を描き、その方針に沿ってブレのない取り組みを計画的に行う。

- ・伊万里町の特色を最大限に活かした外貨獲得による経済的な効果の創出
- ・伊万里町の住民が広く、地産地消に貢献できるイベントの実施
→伊万里中心街で、農・海・畜産物の物産展(月1回位大きな朝市)を実施

②事業部会【健康・福祉部会】

現状と課題
<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none">・伊万里地区の高齢化率は、平成22年2月現在で20.77%。なかでも、28行政区のうち伊万里市の高齢化率を上回る行政区が21区もあり、高齢化が進行。 (住民アンケートに対する回答(代表例))・「現在困っていること、心配なこと」→「老後の生活」(22.4%)と最も多い。次に、「健康問題」、「介護について」が続く。・「住み易くなるためには、何が必要か」→「高齢者や障害者への対策などの福祉問題」への取り組みが最も多く、「地区民の健康・体力づくり」は第8位。 <p>〈課題〉</p> <p>「高齢者の日常生活の中での不便さ」や「将来に対する不安」が課題と受け取れる。 また、地区民の健康の維持・増進についての志向が感じ取れる。</p>
事業の目的
<ul style="list-style-type: none">・高齢者が住みやすいまちにする。・地区民の健康を維持・増進させる。
具体的な取組
<p>〈すぐに取り組むべき事業〉</p> <p>①ふれあい給食・独居老人との交流会</p> <ul style="list-style-type: none">・いまり地区社会福祉協議会で民生委員を中心に行っているが、現在の活動をサポートしていく人材が必要である。・イベントや祭りなど、参加したくても身体的な不自由さや交通手段等などで参加できない一人住まいの高齢者が多いと思われるので、若い人や子どもを含んだ交流会イベントの実施。 <p>②伊万里地区民グラウンドゴルフ大会</p> <ul style="list-style-type: none">・老後を健康で生き生きと活動する場の不足との意見を踏まえて、グラウンドゴルフ大会の実施。 <p>〈充実・発展させる事業〉</p> <p>①すぐに取り組むべき事業の定着と拡大</p> <p>〈じっくり検討して取り組むべき事業〉</p> <p>①「みんなでお出かけ！高齢者外出支援事業」</p> <p>②「ふれあい給食」や「独居老人との交流会」事業を通して、高齢者の方々との交流の場を定着させ、これをさらに一歩進めて、積極的に外に出ていけるような支援取り組みに展開していきたい。</p> <p>③老後を健康で生き生きと活動する場の輪を広げて、さらに老若男女が一緒になって参加するウォーキング大会の実施。</p> <p>④伊万里の町中にある史跡をウォーキングして巡り、高齢者の方から、歴史についての話を聞きながら歩くなど。その後に昼食会を合わせて実施し、お互いを知り合う場とすることにより、ご近所の高齢者の把握や防災にもつなげることにも効果があると考えます。</p>

③事業部会【安全安心部会】

現状と課題
<p>《現状》</p> <p>○防犯面</p> <ul style="list-style-type: none">・街灯が無い。(弁天町、松島（海王）～脇田（まつばや）へ行く道）・伊万里川沿いの街灯が消えている。・青パトや子ども見守り隊が機能していない。・子ども 110 番が機能していない。 <p>○交通面</p> <ul style="list-style-type: none">・段差のある歩道に、店舗などの出入りのため鉄板を設置してあるが、歩きにくい。・境界ブロックの反射板などが外れている。・高齢者の「蛍光色のリボン」は効果的である。・学生の自転車の無灯火が多い。 <p>○防災面</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の避難する場所が分からない。・消火栓の位置が分からない。・公民館が避難場所となっているが、電話回線が 1 本で足りない。毛布も少ない。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の住む地域の危険箇所が分からない。・伊万里地区の境界線が分からない。 <p>《課題》</p> <p>◎以上のような問題点から、住民が犬の散歩やウォーキングなどで各自が反射材をつけるなど自分の身は自分で守るなどの工夫が欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none">・区内の危険箇所の把握をする。(防犯灯含む)・区長会・防災委員・民生委員など、住民の身近な関係団体の連携が取れていない。
事業の目的
<ul style="list-style-type: none">・伊万里地区内の危険な場所や防犯灯などを見直すことで、危険箇所を無くし、住民自らが住みやすい環境について考えられるようにする。・住民一人一人が「自分の身は自分で守る」という意識を向上させる。
具体的な取組
<p>《すぐに取り組むべき事業》</p> <ol style="list-style-type: none">①伊万里地区の境界の把握。②各区の防犯灯設置箇所や消火栓など生活に関係するものを挙げ、各区長に依頼し各区ごとの把握をする。③マップの作成。(避難箇所、避難経路、消火栓)④区長・防災委員・民生委員などの、まちづくりにおける役割を明確にするため、年に 1 回は会議を行う。

《充実・発展させる事業》

①防災の際の避難所の確認。

(各地区で違うので各地区で考える。市内の民間の施設等の利用など)

②防災についての避難訓練などを各地区で行う。

③各戸違う避難所や避難経路の確認。

④全戸に避難所や防災委員や地図などを書いたチラシの配布。

⑤転入者への周知。

《じっくり検討して取組むべき事業》

①今の伊万里地区は昔とは違いアパートやマンションなどが建ち、人間関係が希薄になりつつある中で、隣人の顔が見える防災や災害に強いまちづくりのために取組むべき事業を検討し優先順位を考える。

④事業部会【青少年育成部会】

現状と課題
《現状》 <ul style="list-style-type: none">・子どもが安心して遊べる場所が少ない。・公園が汚い、遊具が少ないなど、遊具の安全面や環境の問題。・子どもたちの居場所を確保して欲しい。(放課後児童クラブが3年生まで)・子ども見守り隊の活性化。・子どもたちがいさつをしない。(高校生が多い)・子どもたちの非行が心配。 《課題》 <ul style="list-style-type: none">・伊万里地区内の公園の場所の把握。・公園や道路などの環境を整える。・子どもの居場所作り。・子どもたちの心を育てる。・親の顔が見える関係の構築。
事業の目的
○子どもたちを健全に育む地区を目指す。 <ul style="list-style-type: none">・子どもたちを安心して育てられる居場所作り・環境作りを行う。・子どもが暮らす地域の環境を整え、大人がまず手本を示し、子どもの心を育てる。・地域の子どもは地域で育てる。
具体的な取組
《すぐに取り組むべき事業》 <ol style="list-style-type: none">①公園マップの作成。(地区内の何処にあるかの把握)②公園の管理(管轄)を調べる。(公園ごとにプレートを作成する)③公園などに花を植える運動。(美化運動は大人が積極的に参加することで、子どもも参加してくれるので地区を愛する心が育つ)④オアシス運動などのように子育てに役立つスローガンの作成や、そのスローガンを掲示し地域で子どもを育てる。 《充実・発展させる事業》 <ol style="list-style-type: none">①道路は近くの住民で美化に務める。②子どもの居場所作り。(自治公民館の活用)③子ども見守り隊の充実。(保護者と地区の人との連携を取る) 《じっくり検討して取り組むべき事業》 <ol style="list-style-type: none">①子育てを地域で協力していきながら、子育てしやすい地域を目指す。②子育てサポーターの育成。(現在子育てをしている人とすでに子育てが終わった方々(お年寄り含む)とのコミュニケーションを取ることで、地区内で顔の見えるお付き合いをしながらお互いを助け合う)

⑤事業部会【伝統文化部会】

現状と課題
<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none">・焼物は小川内が主体であり、伊万里地区は販売が主体となるが、過去において窯元と商店街の連携がとれなかった。・トンテントンは継承していくべきであり、復活の要望は多いが、別の機関で議論されている。・町史は伊万里地区には部分的にしかない。・秋祭り（会所祭り）は昔と今でやり方が変わってきた。・脇田浮立が以前復活しようとしたが中断している。・マリオンにベンチや説明看板がない・歴史、文化等の資料が少ない。案内看板等もない。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none">・氏神等、地区で祀られている理由などを、分かる人がいるうちに聞き取り、伝えていくべき。・観光客を引き付けるような取組を考えるべき。・自分の住んでいる地域のことを、みんなが知ることが大切。 <p>◎「伊万里の文化・歴史が失われている」</p>
事業の目的
<p>○地域の伝統、文化を伝承し、記録・保存する</p> <p>伊万里地区には、一般に知られていない名所、旧跡や浮立などの伝統文化がある。時間の経過の中でその存在や意義が忘れられようとしている。このような歴史的、文化的価値のある文化財を再発見し、記録し、保存していくことを通して、地域に愛着を感じ、心の拠り所とする住民を育むことを目的とする。</p>
具体的な取組
<p>《すぐに取り組むべき事業》</p> <p>○伊万里地区の伝統文化を調査、記録する。</p> <ol style="list-style-type: none">①地区内の氏神様、観音様等の聞き取り調査（地区の詳しい人等から）②地区内の名所、旧跡等の聞き取り調査（地区の詳しい人等から）③古伊万里の卸商、販売店の聞き取り調査（ボランティアガイドとの連携協力）④伊万里地区の古い記録（写真等）の収集、保存⑤浮立の記録、保存活動 <p>《充実・発展させる事業》</p> <ul style="list-style-type: none">・浮立の復活、伝承活動（⑤） <p>《じっくり検討して取り組むべき事業》</p> <ol style="list-style-type: none">①トンテントンの調査、記録、伝承②マップ作りや案内板設置の検討（①、②、③、④）③祭りや名所・旧跡などの目に見えるものだけでなく、その中で培われてきた心や精神も伝統文化ととらえ、次世代に守り伝えていくこと

4. 計画実現に向けて

【 まちづくり計画 年度別スケジュール 】

部会（目的）	取り組み項目	短期		中期		長期	
		H. 23年度	H. 24年度	H. 25年度	H. 26年度	H. 27年度	H. 28年度
地域振興部会 〔 まちの活性化 〕	近隣市街地の成功事例内容からモデル的取り組みの抽出						→
	実施中のイベントにてアンケートを実施し、意見を集める						→
	実施中のイベントへの参加を促すPR活動						→
	観光案内マップ内容の充実と観光案内板の設置必要箇所への設置追加						→
	B級グルメの開発						→
	伊万里の歴史の掘り起こし						→
	茶市の復活、またはアンティーク市などの調査研究						→
	高齢者と子どもたちとのイベント創造						→
	観光どころの創設						→
	伊万里地区の特色を活かした外貨獲得による経済的な効果の創出						→
地産地消に貢献できるイベントの実施						→	

部会（目的）	取り組み項目	短期		中期		長期	
		H. 23年度	H. 24年度	H. 25年度	H. 26年度	H. 27年度	H. 28年度
健康・福祉部会 （高齢者の生活援助 地区民の健康を 維持・増進）	ふれあい給食・独居老人との交流会						→
	伊万里地区民グラウンドゴルフ大会						→
	すぐに取り組むべき事業の定着と拡大						→
	みんなでお出かけ！高齢者外出支援事業						→
	高齢者の方々との交流の場を定着						→
	ウォーキング大会の実施						→
安全安心部会 （まちの危険箇所を なくす）	伊万里地区の境界の把握						→
	防犯灯設置場所や消火栓などの各区ごとの把握						→
	マップの作成 （避難箇所、避難経路、消火栓）						→
	まちづくりにおける役割を明確にするため、 年に1回は会議を行う （区長、防災委員、民生委員等）						→
	防災の際の避難所の確認（各地区）						→
	避難訓練の実施（各地区）						→

部会（目的）	取り組み項目	短期		中期		長期	
		H. 23年度	H. 24年度	H. 25年度	H. 26年度	H. 27年度	H. 28年度
安全安心部会 （まちの危険箇所をなくす）	避難所や避難経路の確認（各戸）						→
	避難所、防災委員、地図等を記載したチラシの全戸配布						→
	転入者への周知						→
	隣人の顔が見える防災や災害に強いまちづくりのために取り組むべき事業を検討						→
青少年育成部会 （子どもたちを健全に育む地区を目指す。）	公園マップの作成						→
	公園プレート設置						→
	花を植える運動						→
	子育てスローガンの作成・提示						→
	道路の美化						→
	子どもの居場所づくり						→
	子ども見守り隊の充実						→
	子育てを地域で協力						→
	子育てサポーターの育成						→

部会（目的）	取り組み項目	短期		中期		長期	
		H. 23年度	H. 24年度	H. 25年度	H. 26年度	H. 27年度	H. 28年度
伝統文化部会 （地域の伝統、文化を伝承し、記録・保存する）	地区内の氏神様、観音様等の聞き取り調査						→
	地区内の名所、旧跡等の聞き取り調査						→
	古伊万里の卸商、販売店の聞き取り調査						→
	地区の古い記録(写真等)の収集、保存						→
	浮立の記録、保存活動						→
	トンテントン祭りの調査、記録、伝承						→
	マップ作りや案内板設置の検討						→
	心や精神を次世代に守り伝えていく						→

5. 資料

(1) 運営委員会名簿

運営委員会役員名簿

役職	所属	氏名
会 長	区長会	安 並 勇
副会長	健康・福祉部会	緒 方 信 弘
	青少年育成部会	岩 橋 和 子
監 事	区長会	池 田 浩 一 郎
	顧問	黒 川 敦 子
事務局長	伊万里公民館	酒 井 友 也

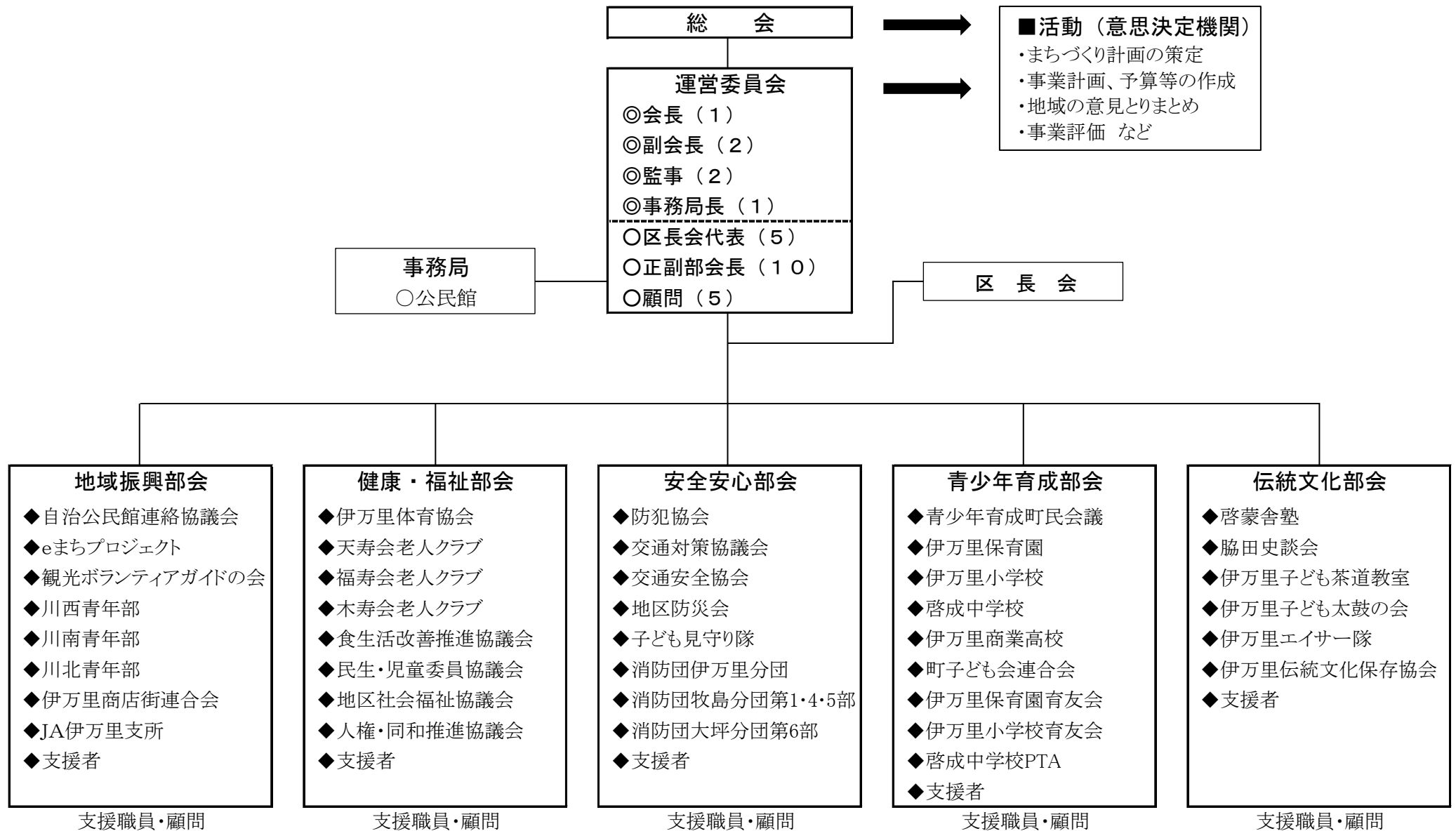
運営委員会名簿

所属	役職	氏名
区長会	会長	安 並 勇
	副会長	山 口 敏 雄
	副会長	池 田 浩 一 郎
	幹事	梅 崎 淳
	幹事	久 保 田 幸 夫
地域振興部会	部会長	大 浦 康 浩
	副部会長	江 頭 洋 二
健康・福祉部会	部会長	緒 方 信 弘
	副部会長	井 手 民 夫
安全安心部会	部会長	坂 本 徳 治
	副部会長	竹 内 和 教
青少年育成部会	部会長	岩 橋 和 子
	副部会長	高 木 健 恵
伝統文化部会	部会長	古 川 一 彦
	副部会長	中 島 法 子
顧問	公募	黒 川 敦 子
	公募	香 月 孝 夫
	公募	早 田 文 昭
	公募	古 瀬 久 美 子
	公募	田 中 秀 雄

支援職員名簿

役職	所属	氏名
リーダー	総務課	前 田 隆 博
サブリーダー	国道港湾対策課	中 里 昭
	長寿社会課	山 口 裕 之
	生涯学習課	西 洋 史
	税務課	合 戸 矢 一

(2) 伊万里地区まちづくり運営協議会組織図



(3)

伊万里地区まちづくり運営協議会規約

(目的)

第1条 本会は、「伊万里町民憲章」の精神を以って、伊万里地区の住民自らが地域の将来像を考え、その実現に向けて自ら行動することによって、住民が誇りと郷土愛を抱く住み良いまちを形成していくことを目的とする。

(名称)

第2条 本会は、伊万里地区まちづくり運営協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(事務局)

第3条 協議会の事務局を、伊万里公民館に置く。

(事業)

第4条 協議会は、伊万里地区まちづくり計画を策定するとともに、第1条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 地域住民（地域外に住む伊万里地区を故郷とする者を含む）相互の情報交換並びに交流及び親睦に関する活動
- (2) 地域活性化に関する活動
- (3) 健康・福祉に関する活動
- (4) 地域の防災、防火及び防犯等生活環境の保全に関する活動
- (5) 青少年育成に関する活動
- (6) 地域の歴史や伝統を知り文化を育てる活動
- (7) その他、目的達成のために必要な活動

(会員)

第5条 協議会の会員は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 伊万里地区の区長
- (2) 伊万里地区で活動する団体の代表者
- (3) 伊万里地区に所在する事業所の代表者
- (4) その他、運営委員会が必要と認める者

(役員)

第6条 協議会に次の役員（以下「役員」という。）を置く。

会長	1名
副会長	2名
監事	2名
事務局長	1名

- 2 会長、副会長及び監事は、運営委員会の中から選出し、総会の承認を得る。
- 3 事務局長は、会長が任命する。

(顧問)

第7条 協議会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、協議会の運営全般に関し、意見を述べることができる。
- 3 顧問は、運営委員会で選出する。

(役員の職務)

第8条 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 監事は、協議会の会計及び事業の執行状況を監査し、総会に監査報告を行う。
- (4) 事務局長は、協議会事務を総括する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠により選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸長する。

(会議)

第10条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、総会、運営委員会及び部会とする。

- 2 会議は、すべて公開を原則とし、事業計画、事業報告、予算及び決算についても広く住民に周知するものとする。
- 3 会議は、出席者の過半数の賛成をもって決定する。ただし、賛否同数の場合は議長が決する。

(総会)

第11条 総会は、会員をもって構成する。

- 2 総会は、年1回定期総会を開催するほか、会長が必要と認めた場合は、臨時総会を開催することができる。
- 3 総会は、会長が招集し、会議の議長となる。
- 4 総会は、次の事項を決定する。
 - (1) 地域まちづくり計画に関すること
 - (2) 会長、副会長及び監事の承認に関すること
 - (3) 協議会の事業計画、予算及び決算に関すること
 - (4) その他、重要事項に関すること

(運営委員会)

第12条 運営委員会は、顧問、区長会の代表及び次条第1項で定める各部会の代表により構成する。

- 2 運営委員会は、総会に諮るべき事項及び協議会の運営に関する事項を審議決定する。

3 運営委員会は、協議会の会長が招集し、会議の議長となる。

(部会)

第13条 総会及び運営委員会で決定された方針に基づき施策を実施するため、協議会に次の部会を置く。

- (1) 地域振興部会
- (2) 健康・福祉部会
- (3) 安全安心部会
- (4) 青少年育成部会
- (5) 伝統文化部会

2 部会を構成する団体は、別表1のとおりとする。

3 部会は、構成する団体の意見等を集約し、運営委員会の承認を図る。

4 部会には、部会長及び副部会長を置き、部会を構成する団体の代表の中から選出する。

5 部会長は、部会を代表し会務を総括する。

6 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会計)

第14条 協議会の運営等に関する経費は、交付金、補助金、委託料及びその他の収入をもって充てる。

2 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(その他)

第15条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は会長が運営委員会に諮り、別に定める。

附則

この規約は、平成22年10月14日から施行する。

(4) プロジェクト委員名簿

安 並 勇	(区長会長)
池 田 浩一郎	(区長会)
久保田 幸 夫	(区長会)
岩 橋 和 子	(保育園園長・青少年関係)
山 下 美 直	(民生委員・老人クラブ・福祉関係)
緒 方 信 弘	(体育協会)
西 田 晃一郎	(社会福祉協議会)
黒 川 敦 子	(公募・青少年関係・元公民館職員)
香 月 孝 夫	(公募・まちづくり関係)
早 田 文 昭	(公募・商店街・まちづくり関係)
古 瀬 久美子	(公募・CSO関係・元公民館職員)
田 中 秀 雄	(公募・伝統文化コーディネーター)
前 田 隆 博	(市支援職員リーダー)
中 里 昭	(市支援職員サブリーダー)
山 口 裕 之	(市支援職員)
西 洋 史	(市支援職員)
合 戸 矢 一	(市支援職員)
酒 井 友 也	(伊万里公民館)
松 下 裕 慈	(伊万里公民館)
松 本 百 合	(伊万里公民館)
栗 田 愛	(伊万里公民館)



万延元年伊万里津絵図(1860年)

伊万里地区元気推進プラン

平成23年3月 発行

伊万里地区まちづくり運営協議会

事務局：伊万里公民館
伊万里市松島町350-4
TEL 0955-23-9988
FAX 0955-23-1049